

	4月	5月	6月	7月		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標に関わる学級目標を設定する。		生徒理解を深め、中学校生活を円滑にスタートできるよう、規律を重んじさせる。			「人と人との関わり」について課題設定した文化祭への取り組みの中で、他者と協力する姿勢を学ばせる。					一年間を振り返り、自己を見つめるとともに、さらに高めるための課題を見つける。	
	基本的生活習慣を確立させ、学習に対する姿勢を身につけさせる。			終学活を生徒に行わせ、一日の課題を振り返る。								
各教科	国語科を中心として各教科で言語環境を整え、発表の場面を増やすとともに、他者の意見を受け入れる気持ちを養う。											
	国語：言語環境を整える中、相談活動を通じて仲間と協力して表現し合う喜びを知る		数学・理科：論理的な思考力を身につけることで自他を冷静に分析し、客観的な視点で人権をとらえる感覚を養う。					国語：人の呼び名を考える。「その他の人権問題」				
道徳	環境の変化を踏まえ、変化を自己向上の転機ととらえられるようにする。また、他者についてもその転機であることを理解させる。「子ども」		他者理解・公德心：社会のきまりを理解し、互いに違う自他がともに生きる社会の構築を目指す。「子ども」			自立の精神：目標を誠実に実行する強い意志		礼儀・適切な言動：時と場に応じた適切な言動がとれるようにする。		望ましい生活習慣		やり抜く強い意志：より高い目標を目指し、希望と強い意志を持って着実にやり抜く態度を育てる。
特別活動	学級活動「中学生になって」：学級目標や自己の目標を考える。		セーフティ教室を実施し身近な危険を知る。「インターネットによる人権侵害」		遠足：自然体験の中で仲間と協力させる。		生徒会選挙を通じ、自主・自律の精神を育てる。「子ども」				学級活動：一年間を振り返り、自己を見つめるとともに、さらに高めるための課題を見つける。	
総合的な学習の時間 読書科			職業調べ：勤労の貴さを理解するとともに、自己の将来への展望を抱かせる。		文化祭を通じて、人としての生き方や、仲間と協力して作り上げる喜びを知る。					身近な地域調べ：江戸川区の産業伝統からテーマを見いだして追求するとともに、地域に育てられていることを知る。		
その他	保護者会・家庭訪問：家庭からの連絡から生徒一人一人の実態を把握する。		校内美化活動や地域行事等への参加。					いじめ調査：いじめを許さぬ強い心を育てる。「子ども」			学校評議委員会：学校の人権教育についての評価と今後の課題を検討する。	



人権課題を取り上げた指導（「」内は人権課題）



人権教育の目標との関連を明確にした教科等の指導



関連的な指導

令和7年度 人権教育にかかわる年間指導計画＜第2学年＞

江戸川区立篠崎第二中学校

	4月	5月	6月	7月		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標に関わる学級目標を設定する。		生徒理解を深め、中学校生活を円滑にスタートできるように、規律を重んじさせる。			「人と人との関わり」について課題設定した文化祭への取り組みの中で、他者と協力する姿勢を学ばせる。					一年間を振り返り、自己を見つめるとともに、さらに高めるための課題を見つける。	
	基本的生活習慣を確立させ、学習に対する姿勢を身につけさせる。			終学活を生徒に行わせ、一日の課題を振り返る。								
各教科	数学・理科で身につける論理的・客観的な思考力をもとに、社会科で扱う同和問題等には人権侵害を擁護しうる根拠がないことを学ぶ。											
	国語：適切な資料を基に論理的に物事を考え、伝え合う力を高める。	数学・理科：論理的な思考力を身につけることで自他を冷静に分析し、客観的な視点で人権をとらえる感覚を養う。			英語科：A i n u「アイヌの人々」	社会科：歴史に見られる人権問題について考えを深める。「同和」					保健体育：男女の適切な関係について学ぶ中で、女性の人権問題についての基礎的な知識を得る。「女性」	
道徳	自己の課題を適切にとらえ、より高い目標を見据えそれに向けて努力する強い意志をもつ。また、他者に対してはそれを支援する姿勢を培う。「子ども」		役割と責任の自覚：社会のきまりを理解し、互いに違う自他がともに生きる社会の構築を目指す。また、自己を支える他者への感謝をもつ。「子ども」		自立の精神：目標を誠実に実行する強い意志	よりよい社会の実現：一人一人の行動でよりよい社会が実現することを知る。		かけがえない命：自他の生命の尊さを理解するとともに自己を輝かせるための責任を考え、行動できる意欲を育てる。		望ましい生活習慣	やり抜く強い意志：より高い目標を目指し、希望と強い意志を持って着実にやり抜く態度を育てる。	
	学級活動「2年生になって」：学級目標や自己の目標を考える。		セーフティ教室を実施し身近な危険を知る。「インターネットによる人権侵害」			生徒会選挙を通じ、自主・自律の精神を育てる。「子ども」		職場体験学習を通じて勤労の意義を理解し、自己の進路への夢や希望をもたせ、それを実現させる意欲をもたせる。		校外学習	学級活動：一年間を振り返り、自己を見つめるとともに、さらに高めるための課題を見つける。	
総合的な学習の時間 読書科	林間学校に関する学習：農作業体験を通じ、勤労の意義について理解するとともに自然環境を守る大切さを考える。				文化祭を通じて、人としての生き方や、仲間と協力して作り上げる喜びを知る。						校外学習を通じて自己の責任と協力について学ぶ。	
	保護者会・家庭訪問：家庭からの連絡から生徒一人一人の実態を把握する。		校内美化活動や地域行事等への参加。					いじめ調査：いじめを許さぬ強い心を育てる。「子ども」			学校評議委員会：学校の人権教育についての評価と今後の課題を検討する。	



人権課題を取り上げた指導（「」内は人権課題）



人権教育の目標との関連を明確にした教科等の指導



関連的な指導

令和7年度 人権教育にかかわる年間指導計画＜第3学年＞

江戸川区立篠崎第二中学校

	4月	5月	6月	7月		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標に関わる学級目標を設定する。		生徒理解を深め、中学校生活を円滑にスタートできるよう、規律を重んじさせる。			「人と人との関わり」について課題設定した文化祭への取り組みの中で、他者と協力する姿勢を学ばせる。					中学校生活で培ってきたものを自己の進路で生かそうとする前向きな姿勢を育てる。	
	基本的生活習慣を確立させ、学習に対する姿勢を身につけさせる。			終学活を生徒に行わせ、一日の課題を振り返る。								
各教科	社会科の公民分野に見られる人権課題について、保健体育の授業との関連を図りながら論理的・客観的に考える。											
	国語：資料を精選し、論理的に物事を考え、的確に伝え合う力を高める。	数学・理科：論理的な思考力を身につけることで自他を冷静に分析し、客観的な視点で人権をとらえる感覚を養う。				社会科：公民に見られる人権問題について基礎的な知識を学び考えを深める。「女性」「子ども」「高齢者」「同和」「外国人」「犯罪被害者やその家族」「その他の人権問題」等				英語科：human right for all「その他の人権問題」	保健体育：HIVに関する正しい知識をもとに新たな人権問題を起こさない資質を育てる。「HIV感染者等」	
道徳	自己の課題を適切にとらえ、より高い目標を見据えそれに向けて努力する強い意志をもつ。また、他者に対してはそれを支援する姿勢を培う。「子ども」		役割と責任の自覚：社会のきまりを理解し、互いに違う自他がともに生きる社会の構築を目指す。また、自己を支える他者への感謝をもつ。「子ども」		自立の精神：目標を誠実に実行する強い意志	よりよい社会の実現：一人一人の行動でよりよい社会が実現することを知る。		かけがえのない命：自他の生命の尊さを理解するとともに自己を輝かせるための責任を考え、行動できる意欲を育てる。		望ましい生活習慣	誇りある生き方：人間のもつ気高さを信じ、誇りある崇高な生き方を実現しようとする信条を育てる。	
特別活動	学級活動「3年生になって」：学級目標や自己の目標を考える。		セーフティ教室を実施し身近な危険を知る。「インターネットによる人権侵害」		修学旅行を通じて集団生活のルールを知り、協力を学ぶ。						学級活動：一年間を振り返り、自己を見つめるとともに、さらに高めるための課題を見つける。	
総合的な学習の時間 読書科			修学旅行に関する学習：日本の伝統文化についての関心を高め、経験して感じ取った日本の良さについて工夫して発表する。			文化祭を通じて、人としての生き方や、仲間と協力して作り上げる喜びを知る。						
その他	保護者会・家庭訪問：家庭からの連絡から生徒一人一人の実態を把握する。		校内美化活動や地域行事等への参加。					いじめ調査：いじめを許さぬ強い心を育てる。「子ども」		人権週間：人権作文	学校評議委員会：学校の人権教育についての評価と今後の課題を検討する。	



人権課題を取り上げた指導（「」内は人権課題）



人権教育の目標との関連を明確にした教科等の指導



関連的な指導